

「南幌町地球温暖化対策実行計画」進捗状況報告書

2011年（H23）度実績報告

2012年（H24）8月

南幌町地球温暖化対策推進委員会

平成23年度「南幌町地球温暖化対策実行計画」に向けた取組み状況（実績報告）について

2012年(H24)・8月

地球温暖化防止に関する国際的な取り組みとして、気候変動に関する国際連合枠組条約があり、1997年(H9)12月に地球温暖化防止京都会議(COP3)が開催され、京都議定書が採択されました。この中で我が国については、温室効果ガスの総排出量を2008年(H20)から2012年(H24)までの間に1990年(H2)比で6%削減するとの目標が定められました。

このことから、町では、事務事業に伴い自ら排出する温室効果ガスの削減を図ることを目的とし2007年(H19)1月に「南幌町地球温暖化防止実行計画」を策定し、二酸化炭素(CO₂)の総排出量を2005年(H17)基準年度と比較し、2010年(H22)までに6%の削減率を目標値にし実施してきました。

実行計画では計画策定から4年後に見直しを行うこととしていたことから、第2次となる実行計画を「南幌町地球温暖化対策実行計画」とし2011年(H23)から2015年(H27)までの5カ年の計画として策定しました。第1次実行計画での温室効果ガス(CO₂)削減取組みの結果、2008年(H20)には、基準年度比8.3%、2009年(H21)には、6.4%削減することが出来、今後においても地域に先導的な役割を果たさなければならない南幌町役場として、なお一層の強化した地球温暖化対策の取組みを行う必要があるため、新たな温室効果ガス(CO₂)排出量の数値目標を第2次実行計画の最終年度である2015年(H27)までに2005年(H17)基準年度比11%削減することに設定しました。

1 平成23年度の実行計画における対象範囲（施設・公用車等）について

算定対象範囲は、職員が直接実施する町の事務事業すべてとしています。

指定管理制度などによる施設の運営管理にかかる温室効果ガス排出量を除外するとともに、単独取り組みとする町立病院は、平成21年度報告より除外しています。

【対象施設一覧】

分類	施設名
総務課	役場庁舎、夕張太ふれあい館
保健福祉課	保健福祉総合センター
都市整備課	総合保安センター、柳陽団地集会場
産業振興課	ふるさと物産館、農業農村整備事業推進本部
生涯学習課	南幌小学校、みどり野小学校、夕張太小学校、南幌中学校
学校給食センター	学校給食センター
公民館	公民館、農村環境改善センター
スポーツセンター	スポーツセンター、町営プール
消防支署	消防支署
公用車	公用車（建設機械も含む）、※除雪機、草刈機は除く

※ 中央公園管理棟、リバーサイド遊友館、ふきの塔は、平成19年度より三重レークハウス、町立病院は、平成21年度から除外しております。

※ 対象施設：17施設

※ 対象公用車：44台（ガソリン：28・軽油16）

2 温室効果ガス二酸化炭素(CO2)総排出量の算定について

指定管理制度等による対象事務事業の変更及び平成23年3月に第2次となる実行計画策定により排出係数の変更を行い基準年2005年(H17)、目標値2015年(H27)の温室効果ガス(二酸化炭素(CO2))総排出量及び平成18年よりの実績数値を次の通り再計算しています。

【二酸化炭素(CO2)排出係数】

ガソリン	軽油	灯油	A重油	LPガス	電気
2.32kg-CO2/ℓ	2.59kg-CO2/ℓ	2.49kg-CO2/ℓ	2.71kg-CO2/ℓ	3.00kg-CO2/kg	0.433kg-CO2/kwh

【温室効果ガスの削減数値目標】

区 分	基準年度総排出量 2005年(H17)	削減率目標	目標年度総排出量 2015年(H27)
二酸化炭素(CO2)	2,263,146 kg-CO2	11%	2,014,200 kg-CO2

【温室効果ガスの実績数値】(第1次実行計画期間)

年 度	CO2 総排出量	削減率
2006年(H18)	2,152,961 kg-CO2	4.8%
2007年(H19)	2,265,603 kg-CO2	0.1%増
2008年(H20)	2,074,622 kg-CO2	8.3%
2009年(H21)	2,117,701 kg-CO2	6.4%
2010年(H22)	2,173,101 kg-CO2	4.0%

3 平成23年度南幌町の温室効果ガス二酸化炭素(CO2)の総排出量について

2011年(H23)度の町の事務事業に伴い排出された温室効果ガス(二酸化炭素(CO2))の総排出量実績は、2,187.4t-CO2となり、基準年(H17)の総排出量と比較して、75.7t-CO2、排出削減率の比較で3.4%の削減となりました。(2010年(H22)比14.3t-CO2、0.4%増)

【基準年2005年(H17)と実績年2011年(H23)の比較】

項 目	基準年【H17】		実 績【H23】		増 減		
	使用量	CO2 排出量 Kg-CO2	使用量	CO2 排出量 Kg-CO2	使用量	CO2 排出量 Kg-CO2	削減率% 17比較
ガソリン	20,907 ℓ	48,504	18,822 ℓ	43,667	△2,085 ℓ	△4,837	△10.0
軽油	60,305 ℓ	156,190	62,961 ℓ	163,069	+2,656 ℓ	+6,879	+4.4
灯油	69,685 ℓ	173,516	77,938 ℓ	194,066	+8,253 ℓ	+20,550	+11.8
A重油	463,800 ℓ	1,256,898	440,000 ℓ	1,192,400	△23,800 ℓ	△64,498	△5.1
LPガス	4,936 kg	14,808	4,078 kg	12,234	△858 kg	△2,574	△17.4
電気	1,416,236kwh	613,230	1,344,089kwh	581,991	△72,147kwh	△31,239	△5.1
合 計		2,263,146		2,187,427		△75,719	△3.4

4 南幌町の事務事業により排出された施設等別排出量について

2011年(H23)度における町の事務事業により排出された施設等別温室効果ガス(CO2)排出量は下記施設等別の排出量内訳のとおりです。排出割合の大きい順は、小・中学校(4校)、保健福祉総合センター、スポーツセンター、学校給食センター、役場庁舎となっています。

小・中学校(4校)の温室効果ガス(CO2)排出量は765.5t-CO2、総排出量の35.0%を占め、基準年(H17)比21.5t-CO2、2.7%削減しました。

H23年度、削減率が一番大きい町営プールの温室効果ガス(CO2)排出量は2.7t-CO2、総排出量の0.1%、基準年(H17)比4.4t-CO2、61.9%削減となっており、削減要因は、町営プール修繕により事業期間の短縮によるものです。

建設機械等は道路維持関連車両で温室効果ガス(CO2)排出量は113.7t-CO2、総排出量の5.2%を占め、基準年(H17)比24.4t-CO2、27.4%と増加が一番大きくなっています。この増加は、冬期間の気象状況(降雪量)による除雪出動回数の増などが要因です。

【施設等別の排出量内訳】

(単位：Kg-CO2)

施設	基準年H17	実績H23	増減量	増減率	構成比
役場庁舎	156,371	148,922	△7,449	△4.8%	6.8%
夕張太ふれあい館	25,305	27,540	+2,235	+8.8%	1.3%
保健福祉総合センター	348,549	334,110	△14,439	△4.1%	15.3%
ふるさと物産館	69,239	59,156	△10,083	△14.6%	2.7%
総合保安センター	9,010	9,691	+681	+7.6%	0.4%
柳陽団地集会場	3,896	4,078	+182	+4.7%	0.2%
農業農村整備事業推進本部	19,626	15,577	△4,049	△20.6%	0.7%
小・中学校(4校)	786,964	765,463	△21,501	△2.7%	35.0%
スクーバス	54,906	46,100	△8,806	△16.0%	2.1%
学校給食センター	176,374	203,565	+27,191	+15.4%	9.3%
公民館、改善センター	174,707	118,163	△56,544	△32.4%	5.4%
スポーツセンター	225,160	237,413	+12,253	+5.4%	10.9%
町営プール	7,143	2,723	△4,420	△61.9%	0.1%
消防支署	48,715	44,692	△4,023	△8.3%	2.0%
公用車	67,906	56,531	△11,375	△16.8%	2.6%
建設機械等	89,277	113,704	+24,427	+27.4%	5.2%
総排出量	2,263,146	2,187,428	△75,719	△3.4%	100%

※合計の数値は、四捨五入のため各施設の和と一致しない場合があります。

5 各項目別の排出量について

各項目別での町の事務事業により排出された温室効果ガス(CO2)排出量の割合はA重油使用による温室効果ガス(CO2)排出量は1,192.4t-CO2で総排出量の54.5%を占め、電気使用による排出量は582.0t-CO2、総排出量の26.6%、灯油使用による排出量が194.1t-CO2、総排出量の8.9%となり軽油使用排出量7.5%、ガソリン使用排出量2.0%(公用車等に使用)、LPガス使用排出量0.5%の順になっています。

1) A重油使用による排出

A重油は主に、施設の暖房等に利用しています。A重油の使用による温室効果ガス(CO2)排出量の合計は1,192.4t-CO2で基準年(H17)比64.5 t-CO2、5.1%削減しています。

A重油の使用については、冬期間の気象状況(気温)に大きく左右されますが暖房が適温となるよう適正な運転管理による削減と考えます。

【A重油使用による施設の排出量内訳】

(単位: Kg-CO2)

施設	基準年H17	実績H23	増減量	増減率	実績H22	増減率
役場庁舎	65,040	54,200	△10,840	△16.7%	59,620	△8.3%
保健福祉総合センター	238,480	233,060	△5,420	△2.3%	238,480	0.0%
ふるさと物産館	32,520	18,970	△13,550	△41.7%	18,970	△41.7%
小・中学校(4校)	498,640	472,895	△25,745	△5.2%	498,640	0.0%
学校給食センター	126,828	153,115	+26,287	+20.7%	138,210	+9.0%
公民館、改善センター	113,820	65,040	△48,780	△42.9%	65,040	△42.9%
スポーツセンター	151,760	168,020	+16,260	+10.7%	157,180	+3.6%
消防支署	29,810	27,100	△2,710	△9.1%	32,520	+9.1%
排出量合計	1,256,898	1,192,400	△64,498	△5.1%	1,208,660	△3.8%

※合計の数値は、四捨五入のため各施設の和と一致しない場合があります。

2) 灯油使用による排出

灯油使用による温室効果ガス(CO2)排出量の合計は194.1t-CO2で基準年(H17)比20.6 t-CO2、11.8%の増加となりました。灯油を主暖房としている施設は、夕張太ふれあい館・総合保安センター・柳陽団地集会場・農業農村整備事業推進本部・スクールバスとなっています。小学校2校、中学校では、体育館のみの暖房として灯油を使用し、他の施設は、補助暖房として使用しています。

増加の主な要因としては、各施設でのポータブルストーブ使用(役場庁舎3.5 t-CO2、128.2%増)による増加と考えます。

暖房により排出されるA重油・灯油使用での温室効果ガス(CO2)を合算し基準年(H17)と比較すると43.9 t-CO2、3.1%の削減となります。

【灯油使用による施設及び公用車の排出量内訳】

(単位: Kg-CO2)

施設	基準年H17	実績H23	増減量	増減率	実績H22	増減率
役場庁舎	2,764	6,307	+3,543	+128.2%	5,107	+84.8%
夕張太ふれあい館	18,150	20,923	+2,773	+15.3%	19,347	+6.6%
保健福祉総合センター	0	807	+807		134	
総合保安センター	6,623	7,458	+835	+12.6%	6,013	△9.2%
柳陽団地集会場	1,586	1,419	△167	△10.5%	249	△84.3%
農業農村整備事業推進本部	9,059	7,266	△1,793	△19.8%	5,453	△39.8%
小・中学校(4校)	123,303	137,225	+13,922	+11.3%	128,412	+4.1%
スクールバス	7,395	9,599	+2,204	+29.8%	6,524	△11.8%
公民館、改善センター	92	100	+8	+8.7%	100	+8.7%
スポーツセンター	3,262	2,465	△797	△24.4%	1,556	△52.3%
町営プール	946	0	△946	△100%	1,046	+10.6%
消防支署	336	498	+162	+48.2%	0	△100%
排出量合計	173,516	194,066	+20,550	+11.8%	173,941	+0.2%

※合計の数値は、四捨五入のため各施設の和と一致しない場合があります。

3) LPガス使用による排出

LPガス使用による温室効果ガス(CO2)排出量の合計は12.2t-CO2で基準年(H17)比2.6t-CO2、17.4%削減しました。

公民館、改善センターの温室効果ガス(CO2)排出量、基準年度(H17)比0.6t-CO2、79.3%削減が大きく公民館調理室の団体利用減少などが要因となっています。また、給湯器の使用時ごとの点火の徹底により削減されたと考えます。

【LPガス使用による施設の排出量内訳】

(単位: Kg-CO2)

施設	基準年H17	実績H23	増減量	増減率	実績H22	増減率
役場庁舎	1,176	1,062	△114	△9.7%	1,116	△5.1%
総合保安センター	12	36	+24	+200.0%	30	+150.0%
ふるさと物産館	4,086	3,528	△558	△13.7%	3,828	△6.3%
農業農村整備事業推進本部	330	162	△168	△50.9%	186	△43.6%
小・中学校(4校)	732	474	△258	△35.2%	612	△16.4%
学校給食センター	6,168	5,706	△462	△7.5%	5,454	△11.6%
公民館、改善センター	840	174	△666	△79.3%	192	△77.1%
消防支署	1,464	1,092	△372	△25.4%	1,068	△27.0%
排出量合計	14,808	12,234	△2,574	△17.4%	12,486	△15.7%

※合計の数値は、四捨五入のため各施設の和と一致しない場合があります。

4) 電気使用による排出

電気使用による温室効果ガス(CO2)排出量の合計は582.0t-CO2で基準年(H17)比31.2t-CO2、5.1%削減しました。

ふるさと物産館の基準年(H17)比4.0t-CO2、12.3%増加につきましては、会議室利用の増、冬期間のロードヒーティングの運転を昼、夜行ったことが要因です。

【電気使用による施設の排出量内訳】

(単位: Kg-CO2)

施設	基準年H17	実績H23	増減量	増減率	実績H22	増減率
役場庁舎	87,391	87,353	△38	△0.04%	84,478	△3.3%
夕張太ふれあい館	7,155	6,617	△538	△7.5%	6,255	△12.6%
保健福祉総合センター	110,069	100,243	△9,826	△8.9%	102,338	△7.0%
ふるさと物産館	32,633	36,658	+4,025	+12.3%	28,337	△13.2%
総合保安センター	2,375	2,197	△178	△7.5%	2,301	△3.1%
柳陽団地集会場	2,310	2,659	+349	+15.1%	2,877	+24.5%
農業農村整備事業推進本部	10,237	8,149	△2,088	△20.4%	8,489	△17.1%
小・中学校(4校)	164,289	154,869	△9,420	△5.7%	160,717	△2.2%
学校給食センター	43,378	44,744	+1,366	+3.1%	44,934	+3.6%
公民館、改善センター	59,955	52,849	△7,106	△11.9%	54,013	△9.9%
スポーツセンター	70,138	66,928	△3,210	△4.6%	66,237	△5.6%
町営プール	6,197	2,723	△3,474	△56.1%	6,655	+7.4%
消防支署	17,105	16,002	△1,103	△6.5%	16,579	△3.1%
排出量合計	613,230	581,991	△31,239	△5.1%	584,210	△4.7%

※合計の数値は、四捨五入のため各施設の和と一致しない場合があります。